

ふりがな 氏名	やまもと あつし 山本 忠	職名	准教授
取得学位	教育学修士	学会での受賞歴	
主な担当科目	算数科教育法、算数、専門基礎科目Ⅲ(数学系)、数学の世界、情報処理演習1・2、理科A		
所属学会	日本数学教育学会、全国数学教育学会、日本数学教育史学会、日本科学史学会		

◆ 教育業績

事項	実施年月(日)	概要
教科書『教員免許状更新講習の理解を深めるための教育・保育の論点ガイドNo.2』の作成 三恵社 ISBN 987-4-86487-720-6	平成 29 年 6 月	著者:服部幹雄、 <u>山本忠</u> 、他 26 名 全 164 ページ中、第 2 章小学校教科の指導法のうち、「小学校算数科の授業における対話的で深い学びを生み出す「状況」設定—ジオボードを用いた面積の指導例中心として—」(pp.73~78)を執筆
教科書『介護等体験の手引き』の作成 あるむ	平成 29 年 7 月	安藤春代、 <u>山本忠</u> 編、pp.1~10 介護等体験の意義と方法について解説
教科書『教職・保育職シリーズ4教育・保育の学びプラスワン』の作成 三恵社 ISBN 987-4-86487-784-8	平成 29 年 12 月	著者:服部幹雄、 <u>山本忠</u> 、他 25 名 全 160 ページ中、第 2 部 教科及び教科外の指導法のうち、「小学校算数科におけるプログラミング教育の活かし方」(pp.25~30)を執筆
教科書『教職・保育職シリーズ5教育・保育の新視点』の作成 三恵社 ISBN 987-4-86487-845-6	平成 30 年 3 月	著者:服部幹雄、 <u>山本忠</u> 、他 28 名 全 310 ページ中、第 2 部 教科及び教科外の指導のうち、「小学校算数科における立体図形の性質の追究学習—ICTを活用した事例として—」(pp.81~90)を執筆
教科書『教員免許状更新講習の理解を深めるための教育・保育の論点ガイド No.3』の作成 三恵社 ISBN978-4-86487-911-8	平成 30 年 7 月	著者:服部幹雄、 <u>山本忠</u> 、他 24 名 全 202 ページ中、第 2 章「小学校・中学校における教科の指導法」のうち第 2 節「算数科における作図とその背景となる理論についての考察」、pp.91~100(10 頁)を執筆
名古屋土曜学習プログラム講師 名古屋市立二城小学校で土曜授業(算数講座)実施	平成 31 年 1 月	小学生向けプログラム「正ためんたいを作ろう」を実施
名古屋土曜学習プログラム講師 名古屋市立川中小学校で土曜授業(算数講座)実施	平成 31 年 2 月	小学生向けプログラム「正ためんたいを作ろう」を実施
教科書『保育者・教育者を目指す学生のための自習ガイドブック』の作成 三恵社 ISBN978-4-86693-058-9	平成 31 年 4 月	著者:服部幹雄、 <u>山本忠</u> 、他 11 名 全 215 ページ中、第 2 部・第 3 章「算数・数学」、第 1 節「比・割合」、第 2 節「速さ・時間・距離」、第 3 節「整数の性質」、第 4 節「方程式・不等式」、第 5 節「座標・グラフ・関数」、第 6 節「数列」、第 7 節「平面図形(直線図形)」、第 8 節「平面図形(円、その他)」、第 9 節「空間図形」、第 10 節「場合の数と確率」、pp.81~130(50 頁)を執筆
教科書『シリーズ教育・保育の論点。教授法と子ども理解』の作成 三恵社 ISBN978-4-86693-101-2	令和元年 7 月	著者:服部幹雄、 <u>山本忠</u> 、他 19 名 全 142 ページ中、第 3 章「コンピュータ教育の歴史からみた現代のプログラミング教育—算数科での留意点を中心として—」、pp.64~71(8 頁)を執筆
「算数科教育法」受講学生に新学習指導要領対応のプログラミング教育を指導	令和元年 7 月	コンピュータ演習室でプログラミング教育の実践体験を指導(37名と36名)

事 項	実 施 年月(日)	概 要
名古屋土曜学習プログラム講師 名古屋市立堀田小学校で土曜授業(算数講座)実施	令和元年 12月	小学生向けプログラム「正ためんたいを作ろう」を実施
教科書『シリーズ教育・保育の論点・理論と実践』の作成 三恵社 ISBN978-4-86693-281-1	令和2年 8月	著者:服部幹雄、山本忠、他16名 全122ページ中、第2部第3章「数を量の変換とみなす立場についての数学的背景」、pp.59～66(8頁)を執筆
教科書『保育者・教育者をめざす学生のための自習ガイドブック・第2版』の作成 三恵社 ISBN978-4-86693-245-3	令和2年 5月	著者:服部幹雄、山本忠、他11名 全168ページ中、第2部・第3章「算数・数学」、pp.65～100(36頁)を執筆
本学越原記念館企画展『移りゆく学びの景色』の展示 品キャプション執筆協力、展示協力	令和2年 9月	算数・数学の教科書の歴史的変遷における戦後以降に関するキャプション執筆、算数・数学教科書提供
「算数科教育法」受講学生に越原記念館企画展『移りゆく学びの景色』の見学引率指導	令和2年 10月	企画展示室の教科書、特に算数・数学関連資料について解説と見学指導(40名)
「算数科教育法」受講学生に新学習指導要領対応のプログラミング教育を指導	令和2年 11月	コンピュータ演習室でプログラミング教育の実践体験を指導(40名)
名古屋土曜学習プログラム「おうちで土曜学習」動画作成	令和3年 1月	小学生向け動画「正 20 めんたいを作ろう」を作成、名古屋市教育委員会動画③の8(5分間)で公開
教科書『シリーズ教育・保育の論点・新時代の学び』の作成 三恵社 ISBN978-4-86693-490-7	令和3年 7月	著者:服部幹雄、山本忠、他18名 全136ページ中、第2部第3章「初等幾何教育における小中・中高接続の重要性—相似概念を中心として—」 pp.78～85(8頁)を執筆
「算数科教育法」受講学生に新学習指導要領対応のプログラミング教育を指導	令和3年 6・7月	算数科各社教科書に基づく、プログラミング教育の実践体験をコンピュータ演習室で指導(29名と30名)
名古屋土曜学習プログラム講師 名古屋市立植田南小学校で土曜授業(算数講座)実施	令和3年 12月	小学生向けプログラム「正ためんたいを作ろう」を実施

◆ 研究業績

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
著 書	『教員免許状更新講習の理解を深めるための教育・保育の論点ガイド No.2』 <ISBN 987-4-86487-720-6 >	共	平成29年 6月	三恵社	著者:服部幹雄、山本忠、他26名 全164ページ中、第2章小学校教科の指導法のうち、「小学校算数科の授業における対話的で深い学びを生み出す「状況」設定—ジオボードを用いた面積の指導例中心として—」(pp.73～78)を執筆

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年 月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
著 書	『教職・保育職シリーズ4教育・保育 の学びプラスワン』 〈ISBN 987-4-86487-784-8〉	共	平成 29 年 12 月	三恵社	著者:服部幹雄、 <u>山本忠</u> 、他 25 名 全 160 ページ中、第 2 部 教科 及び教科外の指導法のうち、 「小学校算数科におけるプログ ラミング教育の活かし方」(pp.25 ～30)を執筆
著 書	『教職・保育職シリーズ 5 教育・保 育の新視点』 〈ISBN 987-4-86487-845-6〉	共	平成 30 年 3 月	三恵社	著者:服部幹雄、 <u>山本忠</u> 、他 28 名 全 310 ページ中、第 2 部 教科 及び教科外の指導のうち、「小 学校算数科における立体図形 の性質の追究学習—ICTを活用 した事例として—」(pp.81～90) を執筆
著 書	『教員免許状更新講習の理解を深 めるための教育・保育の論点ガイド No.3』 〈ISBN 978-4-86487-911-8〉	共	平成 30 年 7 月	三恵社	著者:服部幹雄、 <u>山本忠</u> 、他 24 名 全 202 ページ中、第 2 章「小学 校・中学校における教科の指導 法」のうち第 2 節「算数科におけ る作図とその背景となる理論に ついての考察」、pp.91～100(10 頁)を執筆
著 書	『保育者・教育者を目指す学生 のための自習ガイドブック』 三恵社 ISBN978-4-86693-058-9	共	平成 31 年 4 月	三恵社	著者:服部幹雄、 <u>山本忠</u> 、他 11 名 全 215 ページ中、第 2 部・第 3 章「算数・ 数学」、第 1 節「比・割合」、第 2 節「速さ・ 時間・距離」、第 3 節「整数の性質」、第 4 節「方程式・不等式」、第 5 節「座標・グラ フ・関数」、第 6 節「数列」、第 7 節「平面図 形(直線図形)」、第 8 節「平面図形(円、 その他)」、第 9 節「空間図形」、第 10 節 「場合の数と確率」、pp.81～130(50 頁)を 執筆
著 書	『シリーズ教育・保育の論点。教授 法と子ども理解』の作成 三恵社 ISBN978-4-86693-101-2	共	令和元年 7 月	三恵社	著者:服部幹雄、 <u>山本忠</u> 、他 19 名 全 142 ページ中、第 3 章「コンピ ュータ教育の歴史からみた現代 のプログラミング教育—算数科 での留意点を中心として—」、 pp.64～71(8 頁)を執筆
著 書	『シリーズ教育・保育の論点・理論と 実践』 三恵社 ISBN978-4-86693-281-1	共	令和 2 年 8 月	三恵社	著者:服部幹雄、 <u>山本忠</u> 、他 16 名 全 122 ページ中、第 2 部第 3 章

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
					「数を量の変換とみなす立場についての数学的背景」、pp.59～66(8頁)を執筆
著 書	『保育者・教育者を目指す学生のための自習ガイドブック・第2版』 三恵社 ISBN978-4-86693-245-3	共	令和2年 5月	三恵社	著者:服部幹雄、山本忠、他 11名 全168ページ中、第2部・第3章「算数・数学」、pp.65～100(36頁)を執筆
著 書	『シリーズ教育・保育の論点・新時代の学び』の作成 三恵社 ISBN978-4-86693-490-7	共	令和3年 7月	三恵社	著者:服部幹雄、山本忠、他 18名 全136ページ中、第2部第3章「初等幾何教育における小中・中高接続の重要性—相似概念を中心として—」、pp.78～85(8頁)を執筆
論 文	「自然科学史におけるガリレオ・ガリレイの等速直線運動論の基礎となる比例論の役割」	単	平成29年 10月	名古屋女子大学児童教育学科編『児童教育論集』 〈ISSN 2433-4863〉 No.1	※『新科学対話』において等速直線運動論をユークリッドの比例論を用いて厳密に理由づけした力学におけるガリレオの思考方法の特徴を示した。 pp.123～125
論 文	「算数科における学習評価と模擬授業の振り返りとしての授業評価—授業設計に生かすための評価規準—」	単	平成29年 10月	名古屋女子大学児童教育学科編『児童教育論集』 〈ISSN 2433-4863〉 No.1	※模擬授業について学生による評価の分析結果を示した。授業の基礎(技術)と授業の基本(考え方)の2つのカテゴリーには、相関が有るといふ結果を得た。 pp.115～121
論 文	「算数における数と量の認識論を支える数学理論の再検討—自然科学における量との関連を含めて—」	単	平成30年 2月	名古屋女子大学児童教育学科編『教育・保育モノグラフ No.2・学びの循環』 〈ISSN 2432-8200〉	※算数においては、量からの抽象の結果が数であるのか、同種の2量の比が数であるのかという論争について考察し、両方の立場から分数の乗除の意味付けを行った。 pp.91～100
論 文	小中高を一貫した教材開発の可能性について(続)—図形の問題を中心として—」	単	平成29年 12月	愛知教育大学数学教育講座編『イプシロン』 〈ISSN 0289-145X〉 第59巻	※算数から数学へと発展し、各段階で振り返り活動ができる図形分野における小中高一貫教材を、発展的に追究する数学的活動の例を提示した。 pp.57～61
論 文	「算数教育現代化期における伊藤武の「発見学習」への再検討」	単	平成30年 3月	『名古屋女子大学紀要』 〈ISSN 2185-7962〉 第64号、人文・社会編	※現代化期に開発された伊藤武の算数の発見学習の理論は、アクティブ・ラーニングの一つとして、現代の算数の学習に活か

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年 月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
					せることを示した。 pp.251～260
論 文	「情報処理教育における Operating System の基本操作の重要性」	単	平成 30 年 12 月	本学児童教育学科編『児童教育論集』 〈ISSN 2433-4863〉 No. 2	※教育・保育現場における情報処理の中で、Operating System の操作の重要性について考察した。pp.80-87. (8 頁)
論 文	「理科教育現代化期におけるアメリカの探究学習のわが国への浸透—ESS 理科“Kitchen Physics”の再検討—」	単	令和元年 12 月	本学児童教育学科編『児童教育論集』 〈ISSN 2433-4863〉 No. 3	※アメリカの小学生向け現代化理科カリキュラム ESS 理科の教育史的な背景と実験・研究方法重視の授業展開例を分析した。pp.39-48.(10 頁)
論 文	「数学的な考え方」の概念のとらえ方への算数・数学教育現代化思想の影響—片桐重男の研究を基礎とする分析—	単	令和 2 年 3 月	『名古屋女子大学紀要』 〈ISSN 2185-7962〉 第 66 号、人文・社会編	※片桐重男の資料を統計的に再分析することにより、現代化期以前から重視され始めた「数学的な考え方」の概念へ現代化思想がどのように影響したのかを示した。pp.239-249.(11 頁).
論 文	「わが国のプログラミング教育の歴史と現状—再帰的アルゴリズムの指導を軸として—」	単	令和 2 年 1 月	本学児童教育学科編『児童教育論集』 〈ISSN 2433-4863〉 No. 4	※令和 2 年度発行の小学校算数教科書におけるプログラミング教育の教材について、過去のアルゴリズム教育の歴史から「メモリ管理表」の導入の必要性を示した。pp.75-84.(10 頁)
論 文	「数学教育現代化期における『教材としての幾何の公理系』の取り扱い方—教科書と参考書の記述の分析—」	単	令和 3 年 3 月	『名古屋女子大学紀要』 〈ISSN 2185-7962〉 第 67 号、人文・社会編	※昭和 45 年度告示の高等学校学習指導要領における「平面幾何の公理的構成」に関する教科書と参考書の記述内容を統計的手法で分析した。 pp.133-145.(13 頁)
論 文	「教育・保育系におけるデータベース教育の重要性—データベース思考」の育成として—」	単	令和 3 年 12 月	本学児童教育学科編『児童教育論集』 〈ISSN 2433-4863〉 No.5	※教育・保育を含む多様な実業務でデータベース思考が必要である。目的に応じてデータベースソフトを手動で活用する方法がデータ分析を通じた現状認識につながることを示した。 pp.41-50.(10 頁)

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年 月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
論 文	「昭和 23～35 年の生活単元学習 期における算数教科書の「生活 単元」の設定状況分析」	単	令和 4 年 3 月	『名古屋女子大学紀要』 〈ISSN 2185-7962〉 第 68 号、人文・社会編	※生活単元期の教科書の単元 を生活単元と算数単元に分類 し、生活単元の設定率と検定 年、学年、出版社の 3 項目との 関連を調査した。その結果、検 定年が下るに従って生活単元率 が下がったことを明らかになっ た。 pp.139-150.(12 頁)
口頭発表	「算数・数学教育現代化期におけ る『構造主義教材』の非受容」	単	平成 30 年 11 月	『日本数学教育学会・秋 期研究大会発表集録』 第 51 回(岡山大学)、 日本数学教育学会	※現代化期に導入された構造 主義指向の教材について、史料 を基に現場での受容困難の実 態を示し、概念認知の「視点」の 観点から受容困難が生じる理由 を提示した。pp.531-534. (4 頁)
口頭発表	「算数・数学教育現代化期におけ る『構造』概念の捉え方」	単	平成 31 年 3 月	「東海地区数学教育学研 究会」、第 26 回(岐阜大 学)	※現代化期に主張された「構 造」の重要性について、各論者 の意味内容を再検討した。
教科教育 雑誌 記事執筆	「座右の書・数学教師人生を変えた この一冊・『新しい数学』(矢野健太 郎)」	単	令和 2 年 10 月	『教育科学・数学教育』、 No.756、明治図書、 ISSN2188-4277	pp.104-105. (2 頁)